

# 保健体育科学学習指導案

令和 6 年 7 月 日 第 校時  
中学校 1 年 組 名  
指導者

1 単元名 生殖に関わる機能の成熟 「性への関心と行動」

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元は、第二発育急進期を迎え、生殖に関わる機能の発育・発達が著しいとされる中学 1 年生の性に関する知識・理解を深め、健康を保持増進するために重要な単元である。したがって、性に関する知識を正しく、丁寧に教えるために、科学的根拠に基づいたデータや資料等を活用し、性に関する情報リテラシーを同時に養っていくことが望ましいと考えられる。内容としては、LGBTQ や SOGIE といったキーワードを取り上げ、多様化する性について考える機会を創出したり、性意識の変化や性的欲求の高まりについて、教科書の資料を活用したりしながら、個人差を踏まえた上で生徒が自分ごととして捉えることができるよう配慮する必要がある。

### (2) 生徒観

小学校では、性差によって体つきが変化すること、変化の大きさや時期には個人差があることなど、主に体の変化について既習している。そのため、自分たちが第二発育急進期を迎え、体がだんだんと大人に近づいていることは理解し始めていると考えられる。一方で、思春期における心や異性の体の変化については、小学校では詳しく触れられておらず、保健の授業を通して学習した経験が少ない。そのため、異性の生殖に関わる機能の発育・発達や、異性の尊重の仕方などについての知識を十分に獲得できていないと考えられる。加えて、学級の 80%以上の生徒が自分で自由に使える携帯電話・スマートフォンを保持しており、容易に様々な情報へアクセスすることが可能である。したがって、本単元を通して、性情報にどのように向き合い、情報リテラシーを高めていくのかなど、性情報への対処や性に関する適切な態度や行動の選択について指導していく必要がある。

### (3) 指導観

学校における性に関する指導は、教育課程において実施されることから、学習指導要領に基づいて行うことが重要である。また、その指導は、生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにすることを目的に実施されており、保健体育科や特別の教科 道徳をはじめとして、学校教育活動全体を通じ指導をほぼ情報化社会の進展により、様々な性に関する情報の入手が容易になっており、生徒を取り巻く環境が大きく変化している。したがって、保健体育科では、生徒一人一人が、性に関する正しい情報等を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行うことができるよう、生徒の発達の段階を踏まえ、学校全体で共通理解を図り、家庭・地域との連携を推進し、保護者や地域の理解を得た上で、指導していく。具体的には、性情報への対処の方法について、ICT を活用した班活動を行う中で、生徒自ら正しいと思われる情報にアクセスし、必要な情報を抜き取ったり、正しい知識を獲得したりする機会を創出する。

## 3 単元の目標

- (1) 生殖に関わる機能の成熟について、理解することができるようにする。
- (2) 生殖に関わる機能の成熟に関わる事象や情報から課題を発見し、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- (3) 生殖に関わる機能の成熟に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができる

ようにする。

#### 4 単元の評価規準

知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、身体的な成熟に伴う性的な発達について、理解している。</p> <p>② 応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解している。</p>	<p>① 心身の機能の発達と心の健康について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、健康の保持増進をする方法を考え、心身の発達と心の健康について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>① 心身の機能の発達と心の健康に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

#### 5 指導と評価の計画（3時間）

時間	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 性 へ の 関 心 と 行 動 (本時)	<p>1 性的欲求の高まりや性意識の変化について、事例を踏まえて理解する。</p> <p>2 性の多様性について、L G B T Q や S O G I E を手がかりに理解を深める。</p> <p>3 性的マイノリティについて、ケーススタディを行う中で理解を深める。</p> <p>4 性情報への対処について、信頼できる情報へのアクセスの仕方・活用方法について班で協力して学ぶ。</p>	②		①	<p>(学習活動1) 理解したことを言ったり書いたりしている内容を観察やノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動4) 習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、健康の保持増進をする方法を考えている様子をノートなどで捉える。</p>

2 生殖にかかわる働き の成熟 (1)	1 大人へと成長する中での体の変化について、小学校での学習を振り返る。 2 ホルモンの働きと思春期の体の変化の特徴について、本文と資料から理解する。 3 女子の生殖器の名称について確認し、排卵と月経の仕組みについて資料を基に整理する。 4 初経が起こる時期や月経には個人差があることに気づき、全員が同じように起こるのではないことを理解する。	①	①	(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容を観察やノートなどで捉える。 (学習活動4) 生殖に関わる機能の成熟について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている状況
3 生殖にかかわる働き の成熟 (2)	1 前時の学習を復習し、受精と妊娠の仕組みについて関心を向ける。 2 男子の生殖器の名称と射精の仕組みについて確認し、精通が起こる時期には個人差があることに気づき、全員が同じよう受精と妊娠の仕組みにちを理解本文と資料から確認する。 3 将来重要になる生殖の働きと、今まさに発達している男女の性とを関連付け、今後どのような態度を持つ必要があるか話し合う。	①	②	(学習活動2) 理解したことを言ったり書いたりしている内容を観察やノートなどで捉える。  (学習活動4) 学習したことを基に他者と話し合ったり、発言したりしている様子を観察などで捉える。

## 6 本時（1／3時）

### （1）目標

- ・性に関する適切な態度や行動の仕方を理解できるようにする。（知識）
- ・習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、健康を保持増進する方法を考えることができるようにする。（思考・判断・表現）

### （2）展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価 方法
10	1 性的欲求の高まりや性意識の変化について、事例を踏まえて理解する。	○ 性的欲求の高まりや性意識の変化が現れることは、ごく自然なことであること、感じ方には個人差があること	○ 身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解している。（知識）	ノート
10	2 性的マイノリティについて、LGBTQやSOGIEを手がかりに理解を深める。	○ 性的マイノリティについて、ケースなどを引用し、身近にありふれているものとして、生徒が自分事として捉えられるよう配慮する。個人の考え方や感じ方には深く触れず、あくまで事例		
15	3 スタディを行う中で理解を深める。性情報への対処について、信頼できる情報へのアクセスの仕方・活用方法について	○ として多様な性や性的マイノリティについての理解を深められるよう、配慮する。授業支援クラウドアプリで班学習が行えるよう、事前に信頼できるサイトのリンクや活用方法を共有しておく。また、スムーズに活動できるよう、班の中での役割分担を決めておく。	○ 心身の機能の発達と心の健康について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、健康の保持増進する方法を考えている。（思考・判断・表現）	観察
13	4 班で協力して学ぶ学習のまとめ・振り返りを行う。	○ 授業支援クラウドアプリから、授業の振り返りをGoogle Formsで打たせる。		
2	5	○		

### （3）評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること
-------------------	---

	<p>ノートに書き出したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の機能の発達と心の健康について、班での調べ学習の際に、仲間の意見と自分の意見を比較したり、抜き出した情報を授業支援クラウドアプリにまとめたりしている。加えて、習得した知識を自他の生活に適用したり、課</li> </ul>
<p>「おおむね満足できる」状況を実現させるための具体的な指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような状況は、授業で提示した事例と今までの学習や自身の生活とを結び付けられないことなどが原因として考えられるため、事例を丁寧に説明したり、他の例を挙げたりしながら説明する。また、事例の入手方法や吟味の仕方について、何を根拠に考えていけば良いのかわからないという生徒の姿が想像できるため、</li> </ul>